

こんにちは。さいとう石材です。

石だより

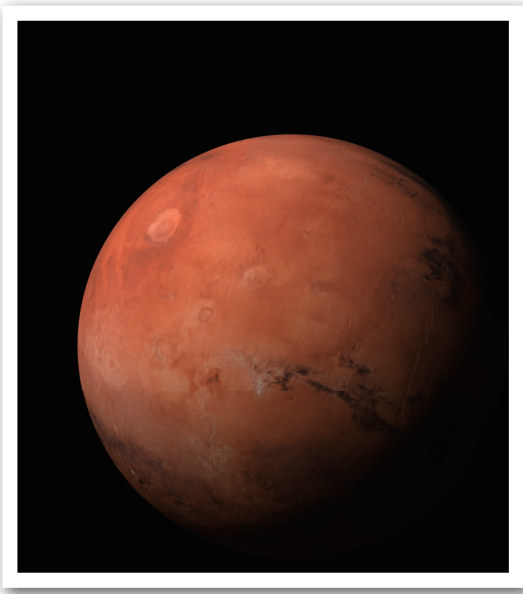
2025年
新年号

いよいよ2025年が始まります。ミレニアムから四半世紀が経ち、世の中のIT化が進むなど、想像していた未来が着々と現実になっていることを実感します。

4月13日からは「大阪・関西万博」が開催されます。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。万博のウェブサイトには、AI(人

工知能)、ロボティクス、ビッグデータ、バイオテクノロジーといった、さらなる未来を実現する最先端技術の用語が踊ります。

開催が近づくと、続々とその内容が報じられていますが、ちょっと異色に思えたのが火星の石の展示です。「未来」「テクノロジー」といった万博のイメージと違い、かえって興味を惹かれた方もいるのではないのでしょうか。



「火星の石」から 広がる未来

この石は、2000年に日本の観測隊が南極で発見した隕石で、数万年前に火星から地球に飛来したものの。大きさはラグビーボールほどで、火星の隕石としては世界最大級といえます。現在は国立極地研究所(東京都立川市)が保管しており、今回が初の一般公開となるそうです。

この隕石には、水と反応してできる成分が含まれ、これが火星での水の存在を示し、万博のテーマでもある「いのち」の起源に迫る貴重な資料になるといわれています。ちなみに1970年の大阪万博ではアポロ12号が持ち帰った「月の石」が展示されました。今回は隕石ですが、火星の有人探査が実現し、実際に採取した石が見られる日もそう遠くはないかもしれません。さらに進んで、火星の石でお墓を建てられる世の中が来るかも…。火星の隕石を前に、私たちも様々な未来を思い描くことができそうです。



裏面「写真に一言」を
ぜひお読みください

株式会社 齋藤石材



本社 TEL0229-67-3036
加美郡加美町字中原 25-14
メール: isi@isi5.com

古川店 TEL0229-28-3744
大崎市古川休塚目見田 1-3

ホームページへは、「齋藤石材 宮城」で検索または、右上QRコードでアクセス↑

お墓に刻まれた言葉⑦

「今日もまたすぎし昔となりたらば 並びて寝ねん西のむさし野」

与謝野晶子 (1878～1942) ・ 与謝野鉄幹 (1873～1935)

前回、前々回に続いて多磨霊園（東京都府中市）の一角で、同じ形の二つの墓石が仲良さそうに並んでいるのを見つけました。与謝野晶子と鉄幹の夫婦のお墓です。ともに歌人ですが、歌集「みだれ髪」や「君死にたまふことなかれ」など、晶子の作品のほうが知られています。

お墓を設計したのは、教育者であり与謝野夫妻とともに文化学院を創立した西村伊作です。それぞれの墓石の前に敷かれた平らな石と、敷地入り口の両脇に設置された2つの歌碑に、4首の短歌が刻まれていました。

墓石の前の歌はともに晶子の作品で、冒頭に紹介した「今日もまた…」は、鉄幹のお墓のほうに刻まれています。「西のむさし野」は、ここ多磨霊園と考えられ、鉄幹への切なる思いが表れています。一方、晶子のお墓には、「なには津に咲く木の花の道なれどむぐらしげりて君が行くまで」と刻まれ、自らの師でもあり、短歌の革新を成し遂げた鉄幹を讃えています。

鉄幹は62歳で逝去、その7年後に晶子が65歳で永眠しました。二人の生涯は穏やかというより波瀾に富んでいましたが、そこに深い信頼と愛情があったことが伝わってきました。



お墓がある場所は、11区1種 10側14番。



晶子の作品「皁月よし野山のわか葉
光満ち末も終わりもなき世の如く」



鉄幹の作品「知りたき事もおほかた
知りつくし今なにを見る大空を見る」

年中行事と食べもの

「小正月の小豆粥」 ～小豆の赤が邪気を払う～

元日の大正月（おおしょうがつ）に対し、1月15日（14日～15日）は小正月（こしょうがつ）と呼ばれます。15日は満月で、古来日本では満月の日を一年の始まりとして祝ったことに由来しているといわれます。現在はこの日をお正月の終わりと捉え、門松やしめ飾りなどの正月飾りを燃やす「どんど焼き」「左義長」などをはじめ、様々な行事が各地で行われています。

小正月の朝には小豆粥（十五日粥）を食べる風習があります。この風習は中国から伝わり平安時代には宮中行事となりました。小豆の赤い色が邪気を払うと考えられ、小豆粥を食べることで一年の無病息災を願います。お赤飯ではなくお粥なので胃にもやさしそうですね。1月7日の七草粥に続いて取り入れれば、よりいっそう健康効果が期待できそうです。

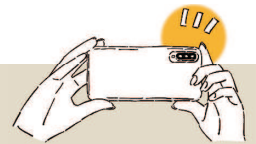


今月の予定

- 1月 1日(水)…元旦
- 1月 7日(火)…七草
- 1月11日(土)…鏡開き
- 1月13日(日)…成人の日
- 1月15日(水)…小正月・どんど焼き
- 1月20日(月)…大寒

～年末年始休業のお知らせ～
12月29日～1月7日

スタッフの「写真に一言」



今年4月にご縁があり曹洞宗の本山永平寺様へ行く機会を頂き、10月に横浜の総持寺様、11月に都内の永平寺別院 長谷寺様へ参拝することができました。長谷寺様ではちょうど石屋さんが作業をされており、少しでもお話しを聞けることができ大収穫となりました。今回は常日頃行きたいと思っていたところへ行くことができ本当に幸せな一年となりました。また機会があれば何度でも訪れたいところであります。2025年も平和な一年になりますように…

定休日 加美町本社 : 12月第1・3土曜・日曜
1月第1・3土曜・日曜・祝日
大崎市古川店: 毎週木曜日・他不定休のためお問合せをお願いします

石だより



さいとう石材 宮城県加美郡加美町字中原 25-14 TEL:0229-67-3036